

— 「在宅看取り患者における残薬の実態：医療用麻薬と非麻薬、剤型別の記
述的ケースシリーズ」 への参加ご協力をお願い（情報公開） —

記

臨床研究課題名：在宅看取り患者における残薬の実態：医療用麻薬と非麻薬、剤型別の記述的ケ
ースシリーズ

研究責任者：中村暢彦

研究概要：本研究は、在宅看取り患者に生じる医療用麻薬および非麻薬の残薬実態を明らかにす
る多施設・後ろ向き記述的観察研究です。在宅終末期では病状の急変や急逝により薬剤
が使われず残ることがあり、特に医療用麻薬は適正廃棄義務や廃棄届提出など法的管理
が求められるため、薬局や医療者、遺族に負担が生じます。また、高額薬剤であること
から医療資源損失の面でも重要な課題です。本研究では、調剤記録や在宅訪問記録など
から残薬の数量・剤型・金額を整理し、終末期医療における処方最適化や麻薬管理業務
の改善につながる基礎的知見の構築を目指します。

- ・データ対象期間：2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
- ・情報公開期間（オプトアウト期間）：2026 年 4 月 1 日～2026 年 4 月 30 日
- ・研究期間：2026 年 5 月 1 日～2028 年 3 月 31 日

対象者：在宅医療を受け、医療用麻薬が処方されていた患者さん

個人情報の保護：この研究では、薬局で氏名や住所などの個人を特定できる情報を取り除いたデ
ータのみを使用します。研究者が受け取る情報に個人が特定される内容は含まれ
ません。データはインターネット未接続の専用パソコンと大学事務室の金庫で厳
重に保管します。研究結果を公表する際も個人が特定されることはありません。
研究利用を望まれない場合は、いつでも中止を申し出ることができます。

対象者となる方でこの研究での試料使用に同意されない場合や、ご不明な点がございましたら、
「連絡先」に申し出て下さい。

本研究は、愛知学院大学薬学部臨床研究倫理委員会より承認を得て、情報公開を行っております。
以上

連絡先:名古屋市千種区楠元町 1 丁目 100
愛知学院大学薬学部 実践薬学講座
責任者名:中村暢彦
Tel: 052-751-2561（代表）